

大 学 生 活 紹 介

毎日充実しています。

佐野 史佳さん

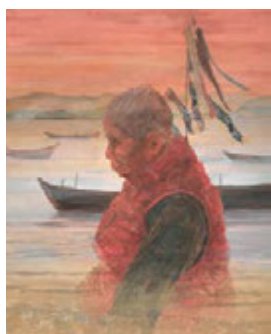
愛知県立芸術大学 日本画専攻3年
2014年度 基礎高1・2年専科 / 2015年度 日本画専科 / 2016-2017年度 日本画本科
聖霊高校出身



1



3



2



4

1. 国宝信貴山縁起絵巻 模写作品
2. 黄昏時 F50
3. だれかのよすが F50
4. アトリエの個人スペース

愛知県立芸術大学では、自然に囲まれた静かな環境で制作することができます。アトリエは床暖房が設置されており、冬の寒い日でも絵具が固まらずにスムーズに制作できるため、日本画制作の環境に適しています。

授業は大学ならではの体験の連続で、毎日充実しています。裏打ちや截金の専門の先生をお招きし、その技術を間近に見ることができたり、塑造の授業や、木工実習、版画実習など、日本画以外のことも学べる機会がたくさんあったり…

また、私は「絵具会」というサークルに参加していて、珊瑚や土などの素材の粉碎から水干まで自ら行い、絵具を製作する活動をしています。

こうした日々の学びや活動のなかに、自分の表現を見つけるきっかけがあるのだと思います。

塾生時代は、先生方の親身な指導、アドバイスをたくさんいただきました。今、大学で日本画を制作するときも、河合塾で培った土台が活着していると感じます。この場をお借りして、先生方に感謝をお伝えしたいです。

芸術とすごく密接に過ごせます。

坂本 皓平さん

東京芸術大学 日本画専攻3年
2015年度 日本画専科 / 2016-2017年度 日本画本科
昭和高校出身



1



2



3



4

1. 「籠」F50号
2. F30号

3. 1年で共同制作する神輿
4. アトリエ風景

東京芸術大学は日常的に芸術に触れられる大学だと思います。絵を描いているときはもちろん、学校内や近くの施設、東京という立地を生かした情報の多さなど、しっかり自分で学ぶ意思さえあれば芸術とすごく密接に過ごせます。なのでおのずと芸術について考えていくし、自分の表現したいこと、やりたいことが分かっていく所だと思います。

同級生は25人とちょうどかかわりやすい人数ですし、皆が皆、東京芸術大学に入ろうと意識を高く持ちながら受験を乗り切って入学した人たちなので、日本画の制作をするときもモチベーション高く制作できることが多いです。

とても楽しく過ごせる環境だと心の底から思います。

OB・OGからのメッセージ

良い絵は良い絵を生み、どんどんつながって広がっていきます。

田中 藍衣さん
画家
河合塾美術研究所講師

愛知県立芸術大学 大学院美術研究科博士前期課程油画・版画領域修了
愛知県立芸術大学 日本画専攻卒業
2004-2006年度 基礎中学専科 / 2009年度 日本画専科
旭丘高校出身



私は現在、河合塾美術研究所の基礎高 1・2 年専攻で講師として塾生の皆さんと向き合うかわら、作家活動を続けています。

受験対策のために河合塾に通い始めたのは高校3年生になる春でした。河合塾での時間は、課題を通してさまざまな学びや悩みがあったり、一緒に同じ目標をめざす友人との楽しい思い出など、いろいろなことがありましたが、今でも私の心に強く残っているのは当時教わっていた先生の姿です。

先生は今の自分と同じように講師として働きながら作家活動をしていて、大きな窓の絵を描いていました。私はこの窓の絵がとても好きで、その絵に憧れていました。

そんな中のある日、授業後の会話の中で「君や、みんなが良い絵を

描いているから僕も良い絵を描こうと背中を押されているよ」と言われ、他人の絵から自分が影響を受けるのと同じように、自分の絵もまた、他人に影響を与えていたことを初めて知りました。

良い絵は良い絵を生み、どんどんつながって広がっていくということを教えてくれたこの一言は、ずっと私の中で響き続けています。

受験対策での制作、大学生活の中での制作、その先の未来での制作、いつだって絵を描いたりものをつくったりするときは一人ではなく、誰かとつながり合っています。

自分のことも他人のことも同じように大切にしながら制作活動をしてみてください。

お互いに、頑張りましょう！



1

- 1. アワー
- 2. 庭木
- 3. ポーズ

すべて2020年制作 ©平林岳志



2



3